

いとなん 飯南



いinanちょう

飯南町広報

平成22年5月20日 No.65

5月号

特集

国道54号活性化
アクションプランを策定

向山2-16-15 国道54号(飯南町野宮)

人でつながる54号

「食」「自然」「安心・快適」を柱に、まちぐるみの協働で進めるプランです

背景

本町の人口・世帯数は減少傾向が続くとともに、高齢化率が40%近くになるなど、多くの課題を抱えています。さらに、平成25年頃を完成予定として中国横断自動車道尾道松江線の整備が進められている中、本町の大動脈ともいえる国道54号の交通量は激減することが予測され、本町経済へ及ぼす影響も懸念されることです。



国道54号



尾道松江線

飯南町

求められる国道54号の持続的活用

こうした状況の中、尾道松江線の整備を見据えたまちづくり・地域づくりが求められ、交通量の減少を見越し国道54号沿線で豊かな地域資源を活用したり、地域に存在する課題を解決することで、その持続的な活用方法を検討することが求められます。本町の大動脈である国道54号沿線の活性化は、町全体が元気になることにもつながるものです。

国道54号活性化アクションプランとは

アクションプランは、国道54号を持続的に活用し元気の飯南町を実現するための行動計画です。

アクションプラン

「食」「自然」「安心・快適」をキーワードに、国道54号が持続的に活用され、飯南町が元気になるアクションプランとして



町内産直市

食の魅力を高める

①飯南町美味しい宝探しプラン
町内2つの道の駅で共通スタンプカードを作成し、継続訪問のきっかけづくりを促進

②道の縁側「産直市交流プラン」
消費者からのメッセージ募集や生産者からのメッセージを発信することで、産直市を介して生産者と消費者の交流を促進

③飯南町美味しいお宝亭プラン
飯南町食材を活かしたメニューを町内イベント等で出し、メニューに対する評価を通じて町内外の交流を促進

④森林とマツサージで身も心もセラピープラン
森林セラピーオプションメニューとしてマツサージの充実を図り、利用者の増加を図る

⑤飯南町応援団「集まれプラン」
クラインガルテンを外部人材の活動拠点と位置づけ、町内交流拠点とする

⑥雪だるまづくりコンテストプラン
外部からの魅力である観光資源を活用し、地域外からの来訪者の獲得

⑦飯南町「花・みち」プラン
沿道美化活動の実施による来訪者へのおもてなしと、道の駅トレギャラリーの創作による飯南町民の取り組みをPR

⑧54号の重要性再確認プラン
国道54号の重要性を再確認し、国や島根県と連携しハード整備を推進



森林セラピー



現在の国道54号 赤名峠



美化活動

町内での交流、町外との交流、町民、里山コミッション、事業者、行政の連携という、人と人とのつながりを活発に行うことで、元気で活力あふれる「生命地域 飯南町」の実現を目指します。本町の総合振興計画や産業活性化ビジョンとの整合を図りながら、それらを町民主体で具体的に推進していくためのものと位置づけられます。

まちづくりトークの開催

アクションプラン策定にあたり、町内外住民による2回のワークショップを開催しました。町内外からの目線で本町の魅力と課題をチェックし、魅力を伸ばす方法や課題解決に向けての活発な議論を行いました。

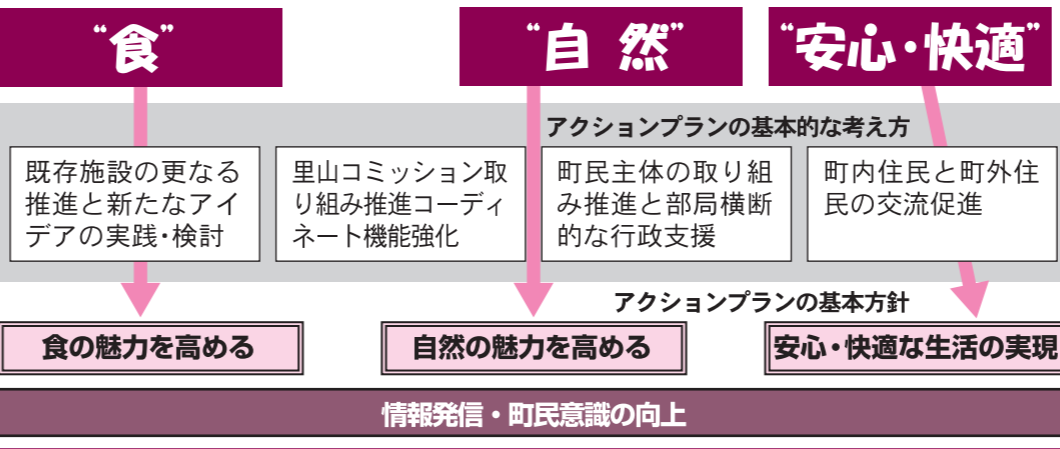
アクションプランに掲げきれないほどの多くのアイデアやプランもこのまちづくりトークから生まれました。

安心・快適な飯南町を実現する

⑦飯南町「花・みち」プラン
沿道美化活動の実施による来訪者へのおもてなしと、道の駅トレギャラリーの創作による飯南町民の取り組みをPR

54号活性化 アクションプラン

アクションを起こすためのキーワード(基本方針)



観光交流人口の増加、通過交通量減少の抑止、生活基盤の整備 等

54号の活性化・持続的活用

人でつながる54号



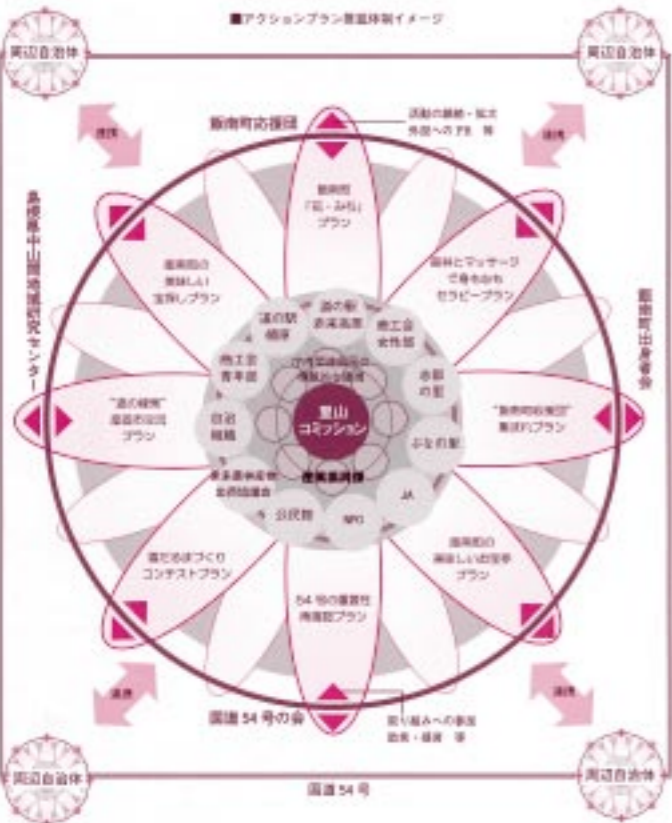
まちづくりトーク

基本方針とキーワード

策定委員会やまちづくりトークでの検討により、プランのキーワードが「食」「自然」「安心・快適」の3つとなりました。また、国道54号を持続的に活用するためには、人と人とのつながりを促進することであるという観点から、「人でつながる54号」をプラン推進のキャッチフレーズとしています。

プランの推進

アクションプランに掲げる取り組みは、里山コミッションと産業振興課ならび関係部局により実施に向けて町内の各主体を牽引します。取り組みの推進主体となる。りつる団体等との協議を行い、実際の取り組みに向けた課題の整理や準備を行います。将来的には、国道54号でつながる周辺自治体との連携を図りながら、広域的な取り組みも検討します。



推進イメージの花びらは、アクションプランを示し、花びらの中にある団体等によりアクションプランを推進します。アクションプランの活発な取り組みにより、更なるアクションプランが花びらに色づくことが期待されます。

4.18(日)



国盗り綱引き 大会 赤名峠

石見銀山遺跡の世界遺産登録により、銀山街道をテーマに町内で行われている様々な取り組みの一つに「赤名峠での国盗り綱引き大会」があります。

この催しは、今回も赤名地域まちづくり連絡会と三次市の布野町まちづくり連合会の主催で開催されました。

布野町ゆかりの歌人中村恵吉の歌碑が除幕され、厳かな雰囲気であった今大会も、出雲国(赤名)と備後国(布野町)の代表として小学生から大人までそれぞれ5チームが参加し、赤名峠山頂で熱い戦いが繰り広げられました。

チーム	対戦相手	結果
1	2	○
2	3	○
3	4	○
4	5	○
5	6	○
6	7	○
7	8	○
8	9	○
9	10	○
10	11	○
11	12	○
12	13	○
13	14	○
14	15	○
15	16	○
16	17	○
17	18	○
18	19	○
19	20	○

これまで国盗り駅伝大会を含めて3度の対決があり、飯南町が1分け2敗しているため備後国に2分け1分けをあげられています。今年の結果は、2勝1敗2分けとなり、今回初めて勝利を収めた出雲国が1分け1分けを奪い返しました。

まだ肌寒さの残る天気でしたが、会場は和やかな雰囲気です。参加した選手は温かい声援を受けながら、力強く綱を引きました。

ぼたんの郷オープン

4.24(土)



お客様に信頼される
直売所づくりを

まだまだ肌寒い風が吹く4月24日、道の駅赤来高原の隣に飯南町農林産物直売所「ぼたんの郷」がオープンしました。

平成10年の道の駅開所以来、赤来地域の農林産物は道の駅赤来高原に委託販売されてきましたが、近年出荷者が増え、直売スペースの拡大が大きな課題となっていました。そこで国土交通省と飯南町の協力により、別棟での直売所建設が進められ、この度めでたくオープンを迎えることとなりました。



開店直後のようす

道の駅で委託販売されていた農林産物は今後は赤来農林産物出荷協議会が直営で販売していくことになりました。

オープン直後、山崎町長は、「今日からぼたんの郷で出荷協議会の活動が始まります。飯南町が島根の南の玄関として愛してもらえ、ためにも、多くのお客様に喜んでもらえるように立派に運営されるよう努力をお願いします」と挨拶しました。

ぼたんの郷の竣工により、道の駅の地域連携機能が強化され、より活性化された地域づくりを進めることができます。中国横断自動車道尾道松江線の開通を前に、飯南町が素通りされることなく、足を止めてもらえるような観光資源として役割を果たして欲しいものです。



4.18(日)

美しいまちに 散在性ごみ 収集活動を実施

豊かな自然を守り活かすまちづくりを進めるべく、4月18日に「散在性ごみ収集活動」を実施しました。

この活動は平成18年度から実施されており、今年も自治区等の呼びかけで多くの方が参加しました。早朝から、熱心にごみを拾う光景が各地で見られました。

町全体で可燃ごみ930kg、カン500kg、ビン340kg、その他不燃ごみ820kg集まり、総量は2590kgでした。皆さんのご努力で、ごみの総量は昨年より減少できています。今後は不法投棄をさせない仕組みづくりが大事になってきます。

ちびっ子集まれ〜in 志都の里

5.3(月)4(火)

「10GWイベント ちびっ子集まれ〜」と題し、今年もうぐいす茶屋でイベントが開催されました。やまめのつかみ取り・釣り堀コーナーでは一生懸命やまめを追いかける家族連れの姿がありました。一喜一憂する子どもに、大人たちは温かい声援を送っていました。

お昼に近づくにつれて休憩所は賑わい、その傍らでは一輪車やフラフープ、竹馬に興じる子どもたちもいました。爽やかな風の吹き抜ける陽気な天気、連休、多くの人が詰めかけ、楽しい休日となりました。



賑わうやまめの釣り堀

子育て世代食講座

おいしくできたかな？ 子どもをすこやかに育てる食育活動の一環で、子育て世代食講座が4月21日に来島保健センターで開催されました。



4.21(水)

保健師、栄養士から、子どもの成長の特徴を知り、それに沿った「食事」、望ましい生活リズム「メディア」のつきあい方についての話のあと、調理実習に入りました。

子育て奮闘中のお母さんたちは、初めて見るレシピに戸惑い、慎重に手を動かしながらも各班それぞれ笑顔を見せました。

この講座は乳幼児の保護者を対象に、楽しく食について学び、子どもの食を通して、家族の健康を考える目的があります。3ヶ月を1クールとしてこの講座は開催されます。

新一年生と一緒に菓子づくり挑戦！

4.24(土)

来島公民館では、平成19年から毎月1回ふるさと教育の一環として、子ども教室「ムラサキキッズ」を開催しています。



4月は、新一年生と一緒にお菓子づくりに挑戦し、「みんなで協力しあうこと」、「上級生は下級生のお世話をすること」、「手づくりの食べ物には安全だ」とい

パパママサロン開催

4.28(水)

協力し合って子育てを健康で安心して生活するための支援としてパパママサロンが4月28日に飯南町保健福祉センターで行われました。



起き上がるのが大変

妊婦体験に参加したお父さんからは、重さのあまり立っていられず座ったほうが楽、寝転がると起き上がるのが大変つらいとの声が聞かれました。

このサロンは交流の場でもあり、家族みんなで参加でき、年4回開催されます。

大万木山ブナ林観察会

5.9(日)

標高1218メートルの大万木山は、県内でも有数のブナの原生地であり、山頂付近に群生しているサンカヨウが特に有名です。

大切さを知っていただくために、毎年5月に開催され、今年も県内外から登山愛好家や家族連れなどが参加し、賑わいました。観察会ではいくつかのグループ分けがあり、それぞれ森の案内人や自然観察指導員がガイドとなり、一緒に山頂を目指します。

「大万木山ブナ林観察会」は、ブナ林の持つ自然の豊かさや春を迎えた植物や木々に囲まれ、参加者は一面の緑に目を輝かせながら登山を楽しんでいます。



平成21年度
飯南町住民提案型事業活動報告 昨年度採択した住民提案型事業の活動報告をします。

団体名 (代表者)	事業名	事業概要
企画研究部門 古民家を保存する会 (代表:赤穴憲一)	石次の古民家整備活用事業	石次の古民家の活用のための備品整備、学習会の実施
牡丹の里工房 (代表:倉橋裕子)	草木染技術向上と普及事業	草木染めの技術向上のための研究と商品開発に必要な物品整備
実践活動部門	元気な地域づくりを取り組む会 (代表:日高敬二)	銀山街道をめぐり、瀬戸山城の歴史を学び豊かな自然と環境美化活動推進
	みせんさんくらぶ (代表:三上隆二)	話し合い場所作りと害獣罠の試作
	Mt.square (マウンテン・スクエア) (代表:向山辰夫)	飯南町を拠点とした、体験型スロライフ提案事業
	花栗振興会 (代表:別木守正)	食文化伝承事業
もんこ (代表:別木康吉)	まるやか焼きドーナツ販売戦略事業	飯南町産やまといもを使用した焼きドーナツを売り出すためのPR

飯南町の医療を守り支援する会設立総会



挨拶する田部会長

4月21日に頓原農村環境改善センターみせんで、飯南町の医療を守り支援する会の設立総会及び記念講演会が開催されました。

今日の医療は危機的状況にあり、島根県内においても医師の不足などにより診療科目の縮小を余儀なくされている医療機関の苦勞が、あちこちで見受けられます。県内で派遣できる医師が限られている中、2名の医師の派遣を受けていることで、飯南町の医療体制は守られていると誇りに感じたいでしょう。

しかし医師が1名でも欠けてしまうとたちまち飯南町の医療は大きな影響を受けます。この高齢化が進む中山間地域において、安心して暮らすた

記念講演会



木村医療企画監の講演

記念講演では、中山間地域の医療の現状と課題と題し、

めに最も大切なことの一つとして、医療の確保が挙げられます。医療は地域生活に密着しており、まちづくりには欠かせません。これまで医療については、病院や自治体(行政)の問題だと見なされてきましたが、飯南町から医師がいなくなってしまう前に、住民自身が自分たちの問題として医療の確保のための対策を学び、医療を守り、支える活動をしていくために今回の会が設立されました。当日は、120名を超える参加者があり、飯南町民の皆さんの医療に対する関心の高さがうかがえました。

現役の医師として活躍されている島根県健康福祉部・木村清志医療企画監が世界と比べた日本の医師の少なさ、地域ごとの偏在、診療科ごとの偏在、初期臨床研修制度の必修化により地域の医療機関に医師を派遣する力が弱まったことなど、現在の医師不足につながる問題点を論じ、若い時から医療に興味・関心を持たせて島根県内での医学志望者を増やしたり、島根県外からやる気のある医師を呼び寄せて充実した研修を実施していくこと、大規模小規模にかかわらず医療機関同士が連携し、お互いの役割分担を確認して研修のプログラムを組み、医師にとって働きやすい環境づくりに努めることなどを提案されました。

意見交換会

記念講演後に意見交換が行われ、参加者の皆さんは熱心に話し合いを行いました。参加者からは、「飯南病院の現状をもっと知りたい」「住民も既往歴を常に把握するなど

して自分自身の情報管理が必要なのではないか」「住民はもつと医師のスケジュールを把握する必要がある」「24時間体制は守ってほしい」「ひどくなれば大規模病院へ行き、治れば飯南病院へ帰るシステム作りがあってもいい」等、活発な意見が出されました。

普段健康な人はなかなか病院へ行く機会がありません。医師が持ち場を離れて住民と対話する場面がなかなかないので、今回の会に参加した皆さんは、貴重な経験をすることができたのではないのでしょうか。



意見交換の様子

農業で困ったことがあればアドバイザーに！

米づくりアドバイザー 金岡 豊さん



平成12年に飯南町にインターンされました。現在農産物検査員、島根有機農業協会審査員などの資格をお持ちです。

金岡さんより「広島・近畿など出身者会を中心に厳選された食味の高い米を販売していきたいと思っています。ダイレクトメールや試食会なども実施していきたいと考えています。」

野菜振興アドバイザー 細木 俊樹さん



平成16年3月まで島根県農業改良普及部に在職され、昨年まで雲南市で野菜振興の普及に努められていました。

細木さんより「産直市(ぶなの里・ぼたんの郷)の売上を伸ばしたいと思っています。地域・行政・アドバイザーの連携をはかり、定住へつながる栽培指導や遊休ハウスの利活用に取り組んでいきたいです。」

果樹振興アドバイザー 女鹿田 勝義さん



昨年に引き続き、果樹振興アドバイザーを担当されます。研修会や、現地指導を町内で開催し、相談に応じられています。

女鹿田さんより「ぶどう栽培面積の拡大・産地化を進めていきたいと考えています。」

3人もとも4月1日付けで飯南町の委嘱を受けました。各アドバイザーへのご相談・ご質問がある方は、役場産業振興課へお問い合わせください。 お問い合わせ 産業振興課農林振興担当 TEL 72-0313

いたみ緑化フェアに参加 飯南町姉妹都市協会



5月8日・9日に兵庫県伊丹市昆陽池公園で、いたみ緑化フェア2010が開催され、今年も飯南町から6団体28名が飯南町のPR、特産品販売に参加しました。

両日とも快晴に恵まれ、約2万7千人もの来訪者があり、飯南町姉妹都市協会出店テントも多くの伊丹市民で賑わいました。

今年、10月には飯南町を会場に姉妹都市提携30周年記念行事を開催します。

森林セラピーのコーナー 第6回

森林セラピーは登山?



森林と聞くと登山のイメージがありますが、森林セラピーは基本的に登山ではありません。森に来られる方の体調や状況を判断して行ないますので、特に初めて森に来られる方は平坦なコースを散策します。森の中をゆっくり歩いたり、座って休んだり自分のペースにあわせて行ないます。森でいきなりハードな運動をするとリラックス効果は下がり、逆にストレスになる場合があります。

最初はゆっくりと森に親しみ、少しずつ負荷を高めながら進めて行くことが効果的です。最終的に森になれて、登山に挑戦したい!という気持ちになれば登山をおすすめします。

飯南町は、ゆっくりと安心して歩ける県民の森セラピーロードから登山でも女亀山・琴引山・大万木山など多数選ぶことができます。しかし、自分で状況を判断し、いずれかコースを選ぶことは難しいかもしれません。その際は、森林セラピー基地マネージャーや森林セラピストにご相談ください。



うつ病や心の病気を治すには、抗うつ薬などの薬による治療が治療方法の中軸になります。抗うつ薬は以前は副作用が心配になるものが多かったのですが、最近の薬（新規抗うつ薬）は比較的安全に服用することができます。新規抗うつ薬はお薬の効果が得られるのに2〜

うつ病は、早い段階に適切な治療を受ければ治る病気です。しかし気づかないまま放置しておく慢性化しやすい、再発しやすい特徴があります。また、うつ病になると患者さんの少数で自殺をしようとする場合があります。よって、症状に心当たりのある人は、少しでも早くお医者さんへかかりましょう。

うつ病シリーズ ② うつ病の治療について

4週間かかるのが特徴です。焦らずじっくり、お薬を信じて、医師の処方通りの飲み続けることが重要です。ただし、いくら投薬治療を続けても、うつ病発症のきっかけとなったストレスを受け続けている状態では、明らかな効果は得られません。お薬を飲みつつ、十分な「休養」をとることが重要です。軽度で短期的な治療で働きながら治せる場合もあれば、長期にわたる休みが必要になる場合、また家庭で治療しきれない場合は入院することもあります。治療をスムーズにするためにも、心の負担になるような環境（学校・会社・家庭など）の調整が必要で、医師と相談しながら、病気の程度や生活スタイルに適した治療をしていきましょう。

お問い合わせ 飯南病院 TEL72-0221 来島診療所 TEL76-2309 保健福祉課 TEL72-1770

飯南の輝き

Vol.11



2町のハーモニー 飯南町文化協会



飯南町文化協会は、平成17年1月の旧赤来・頓原町の合併を機に、飯南町に文化協会を作ろうという機運が高まり、それまで旧頓原町で活発に活動されていた頓原町文化協会の皆さん、旧赤来町で活動していたサークルの代表者等が集まり、平成18年4月に発起人会が開かれ、設立に向け設立準備委員会を設置し、同年11月、飯南町文化協会として設立されました。

飯南町文化協会は、現在33団体・約300名の皆さんにより構成され、公民館祭などで活発に活動を行っていただいています。協会の主な年間行事としては、頓原町文化協会時代から続いている、町内保育所・小学校・飯南高校の園児・児童生徒さんによる、頓原地下道への作品展示と、恒例となっており、新春書初め会、平成20年度まで開催されていた町産業文化祭への協力・参加を行っています。

てきました。そして昨年度は、「第1回飯南町文化祭」を開催しました。また、協会内事業では、舞台・展示部門別事業や視察研修などを行っています。今年度の「飯南町文化祭」は、協会内外の広範な団体・個人の皆様にも出演・参加いただけるような内容にする予定です。また、協会に入会していただけの団体・個人会員を募集中です。皆様のご参加をお待ちしています。



【写真：第1回飯南町文化祭より】

こんにちは中山間地域 研究センターです



放牧牛のレンタル

だておとせ



センターで生まれた子牛

センターでは中山間地域で増えている耕作放棄地の解消と農地の再利用を図るため、関係機関と協力し、耕作放棄地に牛を放牧する事業に取り組んでいます。耕作放棄地への放牧は、雑草等の除去に効果があることは分かっていますが、放牧牛をどこから調達するのが課題となっていました。今回はセンターが放牧牛のレンタルステーションとなり、各市町村等の依頼を受けて妊娠中期の雌牛（繁殖牛）の貸し出しを行います。この時期の雌牛は授乳中の牛と違って、放牧地の草だけで十分栄養が足りるので放牧に適しています。耕作放棄地に放牧した雌牛は、出産の2ヶ月前にならばセンターに戻って子牛を生み、3ヶ月して子育ての終わった雌牛はまた放牧に出かけると



放牧の様子

いうサイクルを繰り返します。現在、牛舎には放牧用の雌牛が12頭います。3月以降さらに4頭の子牛が生まれ、牛舎が随分にぎやかになりました。耕作放棄地の解消に放牧牛を活用してみたい方は、県の農林振興センター・雲南事務所 飯南地域改良普及部までお問い合わせください。

お問い合わせ

農林振興センター雲南事務所 飯南地域改良普及部 0854・42・9571

俳句短歌

- 琴峯華俳句会(祝原の桜吟行) 会員作品抄
- * 産土の郷はやさしや山桜
 - * 一陣の風に誘はれ落花かな
 - * 立札に名木由緒花万葉
 - * 由緒ある祝原桜今盛り
 - * 花咲かぬ宇宙に架ける先の世と
 - * シンボルの大樹満開花の宴
 - * 杖ついて老婆二人の花見かな
 - * 句帳手に花は見頃の祝原
 - * ぼんぼりと一基添へたし老桜
 - * 宝篋ふ巨幹桜に力瘤

赤名短歌会

- * 株分けつ冬を越えたるシクラメン早春の淡き光に咲きぬ
- * 緋ぞくらの蕾ふくらむ三月尽りづ氷に雪にふるえる
- * 昭和の世に成人をせし年代にドクトル・チエコは少子化叫びしか
- * 梅の花散りたる枝に鳥の来て一羽が二羽になりてとびにけり
- * 春陽背に畑を打らして浴室に洗えば今にも折れそうな腕
- * 暖冬の声うらはらに雪少寒波をこりの雪もかぞえて三たび
- * 晴れた朝朝霧ながらつばめ二羽はるばる来たりと思わず嬉し
- * 雪のなまき冬とうらはら弥生の雪病みて一入春待ら遠し
- * 啓蟄を過れば雪の我が村も道行く人の顔のあかるむ
- * 農はじめ桜の下で種を蒔く若き夫婦も口も忙し
- * 水仙の黄のほぐれゆく登下がり幼なじみの便りが届く
- * 娘等とひばりのCD聴きながら桜散る道春のドライブ
- * Sサイズの春色セーターさがし選る細くなりにし母の背に当て
- * 生き生きと今と盛りの桜花やがては散らむむらりいといら
- * 妻乗せていそぐ救急車に手と合わす「早くて良かった医師の一言
- * 降る雪に山の姿も見えざりき刃のごとき風吹きますよぶ

四月例会詠草

- 岩佐 恒子
- 三島 久恵
- 安部 教子
- 石田フクエ
- 本間 麗子
- 澤田 勝登
- 難波 幾子
- 貝森フミエ
- 佐々木りく子
- 門所 詠子
- 澤田久美子
- 日富美代子
- 星野 敦子
- 清原 豊明
- 中村三四二
- 源 光子

平成22年度 飯南町産業創出支援事業について

飯南町では新たな産業創出等を目的として新産業または新商品の創造を行う本町の中小企業者に対し「飯南町産業創出支援事業」により補助金を交付します。

- 交付対象 町内の法人格を有する中小企業、NPO法人等
- 交付要件 実現可能な具体的事業計画を有していること。
売上増、地域経済への波及効果等が見込まれる事業。
事業完了後2年以内に1名以上の雇用が見込まれること、
または売上高が補助金交付申請額の2倍以上を達成できる事業
- 交付金額 新産業創出事業 補助対象経費から他の補助金を控除した額の4/5以内(限度額300万円)
小規模商品創出支援事業 補助対象経費 定額(限度額30万円)
- 選考方法 飯南町産業創出支援事業選考委員会により審査検討を行う
- お問い合わせ 産業振興課(頼原庁舎)商工振興担当 TEL720313



「人権擁護委員の日」 特設人権相談所の 開設について

【頼原】

日時 6月1日(火) 10時から15時
場所 飯南町頼原 飯南町保健福祉センター
委員 頼原:木村康男 野萱:山下富弘

【赤来】

日時 6月1日(火) 10時から15時
場所 飯南町野萱 来島保健センター
委員 下赤名:吉川玲嗣 角井:後長洋子

人権擁護委員はあなたの街の相談パートナーです。相談は無料で秘密は厳守いたします。お困りのことがありましたら、お気軽にご相談ください。

平成22年度啓発重点目標
みんなで築こう 人権の世紀
～考えよう 相手の気持ち
育てよう 思いやりの心～



DVを容認してしまう 被害者の心理と現実

- ・はずかしくて言えない...
- ・夫、恋人などがいつか変わってくれる...
- ・これまで築き上げてきたものを否定したくない...
- ・どんな父親でも子どもには必要...
- ・周囲の理解や支援が得られない...
- ・経済的に夫に依存しており、自由になるお金がない...

【女性相談の窓口】

女性相談員が相談に応じます。
相談費用は無料、秘密は厳守します。
*相談時間
月～金曜日(8時30分～17時)
(土、日、祝日、休日、年末年始を除きます)
女性相談センターでは、土・日の電話相談も行います。
(祝日・休日・年末年始を除く)

連絡先

女性相談センター(配偶者暴力相談支援センター)
TEL0852・25・8071(松江市大輪町420)
あすてらす女性相談室(配偶者暴力相談支援センター)
TEL0854・84・5661(大田市大田町イ236 4)
出雲児童相談所
TEL0853・21・8789(出雲市小山町70)

介護保険制度 福祉用具購入費・住宅改修費の 受領委任払いを始めました。

ポータブルトイレ等の福祉用具を購入した時、自宅に手すりを設置する等改修をした時、費用の9割を申請によって払い戻しが受けられます。(償還払い)
平成22年4月より、償還払いの他に「ご利用者の一時的な費用負担を軽減するため、受領委任払いを選べるようになりました。」
【受領委任払い】
利用者は費用の1割を事業者へ支払い、保険給付(費用の9割)を利用者から委任を受けた事業者へ支払います。
【受領委任を選択できる人】
要介護(要支援)認定を受けている人で、次のいずれにも該当する人
介護保険料滞納により給付制限を受けていない人
事業者の承諾が得られている人
【受領委任払い】
受領委任払いを希望される場合)
必ず事業者の承諾が必要です。(一時的に費用の9割を立替えてもらうため。)
支給申請書に委任状兼承諾書を添付し介護保険担当窓口へ提出してください。
詳しくは雲南広域連合介護保険課管理給付係
TEL0854・45・5803
までお問い合わせください。



受けていますか? 特定健診

40歳以上75歳未満の被保険者、被扶養者の方すべてが対象です
特定健診は、生活習慣病の前段階であるメタボリックシンドロームを発見するための検査で、加入している医療保険者によって年1回実施されます。腹囲の測定などにより、メタボリックシンドロームの該当者とその予備群となる方を早期に発見し、改善の指導を行うことを目的としています。生活習慣病にならないためにも、まずは特定健診を受けましょう。
詳しくは、国保の方は保健福祉センター(TEL72・1770)へ、被用者保険の方はお持ちの保険証を発行した保険者へお問い合わせください。
基本的な健診必須項目)
問診 理学的検査
身体測定 腹囲
血圧測定 脂質検査
血糖検査 肝機能検査
腎機能検査
詳細な健診
医師が必要とした人のみ行います
貧血検査 心電図検査
眼底検査



島根県保険者協議会
(市町村国保、医師国保組合、全国健康保険協会、健康保険組合、共済組合)
島根県保険者協議会は、島根県内の医療保険の保険者が連携協力して、効果的に被保険者等の健康保持増進を図ることを目的として設置されています。
事務局:島根県国民健康保険団体連合会
http://www.shimane-kokuhoken.or.jp/
(本会HP内 保険者協議会コーナー)

飯南町により身近な 警報・注意報がはじ まります

従来、災害の特性などを考慮し、島根県を7つの区域に分けて気象に関する警報・注意報を発表してきましたが、平成22年5月27日(予定)からは島根県内の21市町村ごとに、市町村を絞り込んで、その市町村を対象に気象に関する警報・注意報を発表します。
なお、177天気予報サービステレビラジオ等では、市町村単位で発表されている気象警報・注意報を簡潔に且つ短時間で伝える必要があることから、市町村をまとめた「地域の名称(これまで用いていた7区域の名称)」を用いてお知らせされる場合があります。
お問い合わせ
松江地方気象台防災業務課
TEL0852・22・3784



すこやかにかに 4月届出分

- 新生児 届出人 地区
- 片岡 紅(あか)ちゃん 治道(上)島
- 吉川 瑛(えい)ちゃん 伸久(赤)名
- 景山 果(はる)ちゃん 玲児(都加賀)
- 三嶋 遥(はる)乃(な)ちゃん 大樹(頼原)

やまのくに 4月届出分

- お名前 親族 地区
- 那須 博(ひろ)様(92) 勉(八)神(川)西
- 加瀬部 享(きょう)様(79) 強(頼原町区)
- 藤原 直(なほ)様(81) 秀明(頼原奥畑)
- 景山 直(なほ)様(75) 昌治(花栗)
- 松田 増(さへ)様(73) 吉弘(小田)
- 渡部 宏(ひろ)様(78) 敬(獅子)
- 井上 邦(くに)様(88) 重雄(井戸谷)
- 塩田 康(やす)太(た)様(1) 昭(あ)弘(野萱)



今月の表紙
今月は南北に延びる国道54号を撮影しました。人が往来する道には出会いがあり、交流も生まれてきます。交流が続くからこそ国道54号は活用の幅も広がります。
中国横断自動車道尾道松江線の開通後が気になるところですが、人と人とのつながりは、必ずや国道54号そしてその周辺地域に恩恵をもたらすものと信じてみてくださいます。

まちのスケジュール

2010
平成22年

6月

日	月	火	水	木	金	土
5/30	5/31	1 * スマイルりんご (来島保健センター) * 特設人権相談所開設 (保健福祉センター、 来島保健センター)	2	3 □ 後期県高校総体 ~5日	4	5 □ 奉仕作業 (赤名保育所・桜ヶ台保育所) * JTマーヴェラス バレーボール教室 (飯南高体育館)
6	7 * 町健康診査 (さつき会館)	8 □ 中学校雲南・飯南 総体 ~9日 □ 小中交流活動・ 頓原中吹奏楽部 演奏会 * 町健康診査 (さつき会館)	9 □ 頓原小フリー公開日 ~10日 * 町健康診査 (さつき会館)	10 □ 保育公開日 (来島保育所) □ 志々小授業公開日 * 行政相談 (憩いの郷衣掛)	11 □ 頓原小授業公開日	12 □ 奉仕作業(来島保育所・ さつき保育所・赤来中) * 泥おとし神楽共演 大会(谷美楽校)
13	14 * 町健康診査 (来島保健センター)	15 * スマイルりんご (来島保健センター) * 町健康診査 (来島保健センター)	16 □ 中学校雲南・飯南 陸上大会(大東) □ 保育公開日 (桜ヶ台保育所) □ 人権・同和教育講演会 (赤名農村環境改善センター) □ 来島小授業公開 ・救急法講習会 * 軽体操 (来島基幹集落センター) * 町健康診査 (来島保健センター)	17	18	19 * ムラサキキッズ (来公・来島基幹集落センター)
20 * 志津見ダム湖まつり (第19回ポピー祭) (東三瓶フラワーパレ イイベント広場)	21	22 □ 保育公開日 (赤名保育所) * 子育て世代食講座	23 □ 保育公開日 (さつき保育所) □ 小中学校交流会 (頓原中・頓原小・志々小) □ 小中学校音楽鑑賞会 * 町健康診査 (赤名農村環境改善センター)	24 * 町健康診査 (赤名農村環境改善センター)	25 □ 赤名小授業公開 ・救急法講習会 * 町健康診査 (赤名農村環境改善センター)	26 □ PTA心肺蘇生法講習会 ・ソフトバレー大会 (赤来中) * いちりナイトウォーク (さつき会館) * 県ハンドボール大会 ~27日
27 * ムラサキ探検隊 * 飯南町消防団夏期訓練 及び町内操法大会 (頓原町民グラウンド)	28	29 * 頓原小少年自然の 家研修 ~7/1	30 * 来島小少年自然の 家研修 * 赤名小少年自然の 家研修	7/1	7/2	7/3

□ 教育 * 健康・保健 * 文化・体育 * その他



決められた日時を
お守りください

し尿汲取り日		頓原地域 ▲72-1401 赤来地域 ▲76-2441	
汲取り地区	汲 取 り 日	汲取り地区	汲 取 り 日
頓 原 志 々	7日 9日	頓 原	16日 (水)
赤 名	2日 4日 21日 22日	赤 来	23日 (水)
来 島	14日 15日		

資 源 物	
収集地域	収集日
頓 原	16日 (水)
赤 来	23日 (水)

収集地区	金 属 類 ・ 粗 大 物		ガ ラ ス 類	
	収 集 日	収 集 日	収 集 日	収 集 日
頓 原 連 坦 地	21日(月)	7日(月)	21日(月)	7日(月)
八 神 連 坦 地	23日(水)	9日(水)	23日(水)	9日(水)
志 々 ・ 頓 原 の 連 坦 地 以 外	22日(火)	8日(火)	22日(火)	8日(火)
赤 名 連 坦 地	14日(月)	1日(火)	14日(月)	1日(火)
来 島 連 坦 地	16日(水)	3日(木)	16日(水)	3日(木)
赤 名 ・ 来 島 の 連 坦 地 以 外	15日(火)	2日(水)	15日(火)	2日(水)

いいしクリーンセンター TEL72-9217